

「大規模公園ビジョン」(素案)に関する市民意見募集の結果について

1. 募集期間

令和2年12月7日(月)から令和3年1月7日(木)まで

2. 意見件数

10通17件

3. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

※ご意見の内容は趣旨を損なわない程度に要約しています。

意見の概要		意見に対する市の考え方
<p>第5章 基本方針と施策展開イメージ</p> <p>【基本方針1】 都市を守るグリーンインフラの保全と育成</p>		
1	<p>六甲山をはじめとする緑化、緑地保全、都市公園の整備と管理等について、特に基本方針1の都市を守るグリーンインフラの保全と活用の視点を最重要に考え、行政が中心となって様々な取り組みを今後も進めてもらいたい。</p> <p>その中で、大規模公園は、森林生育環境を提供できる場所であり、健全な樹木を育てていくために、目に見えない地中の土壌にもっと注目し、樹木の驚異の生命力を引き出す良好な森林土壌を目指した植栽基盤づくりにもっと力を入れてもらいたい。</p>	<p>大規模公園をはじめ様々な緑とオープンスペースは、安全で快適な市民生活に寄与する貴重な社会資本(=グリーンインフラ)であり、その保全と育成は最重要テーマであると考えており、基本方針1に位置づけています。</p> <p>また、グリーンインフラの持つ多様な機能を最大限生かすためには、ご意見にあるように、植栽基盤づくりが必要不可欠であると認識しています。</p> <p>ご意見を参考に、基本方針1の②に土壌の保全・改良について追記します。</p>
2	<p>気候変動に備え、かつ基本方針2～4も含むダイナミックで独創的な具体的プランがもっと欲しい。例えば、各公園を繋ぐ道路を歩道化して、雨水貯留と涼しくする仕組みを取り入れる+マラソンコース化するなど。</p>	<p>気候変動に対応していくためにも、基本方針1に示す通り、大規模公園とその骨格をとりなす自然環境をグリーンインフラとしてとらえ、大切に保全していくことが重要であると考えています。</p> <p>そのうえで、新たな視点として、例えば複数の公園や周辺施設の連携について、第6章のイメージプランとして示しています。</p> <p>なお、ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	意見に対する市の考え方
<b>【基本方針2】 みんなに愛されるゆとり空間の創出と充実</b>	
<p><b>3</b> 神戸は平野がなく、子供からお年寄りまで多くの人々が多目的に利用可能な、大規模な広場を持つ公園は数限られている。</p> <p>先人が造成等により創出した広場はぜひ色々作り込みすることなく、例えば疎林と芝生のゆとりのある大広場として、これからも大切にしてもらいたい。</p>	<p>大規模な広場を持つ公園は、市民の憩いやレクリエーション、遊びの場として重要な役割を担っているものと認識しており、本ビジョンにおいても、基本方針2の中で、公園が持つ自然資源やオープンスペースを活用したゆとりある空間の提供について示しています。</p> <p>なお、ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
<p><b>4</b> 高齢者のフレイル予防や認知症予防を含めた健康の増進に資する機能や、引きこもり等で福祉的なサポートが必要な方の支援や、就労など活躍の場としての活用がイメージできれば良いと思う。</p>	<p>大規模公園は、基本方針2に示す通り、あらゆる人にとって居心地の良い場所（サードプレイス）であることが重要であると考えています。</p> <p>ご意見を参考に、基本方針2の①に健康・福祉の増進について追記します。</p>
<p><b>5</b> コロナ禍において、オープンスペースの位置付けが変わってきている。健康寿命の増進や教育福祉対策の一環として公園の価値をお金に換算して1本の樹を大事にしてほしいと思う。下水道や教育福祉の予算を円滑に公園に割けるような枠組みで考えるべきだと思う。</p>	<p>コロナ禍をはじめ、社会情勢が目まぐるしく変化する中で、基本方針4に示す通り、多様な主体との協働や連携による持続可能な公園運営の仕組みづくりが必要であると考えています。</p> <p>大規模公園が健康・福祉等の各分野において大きな役割を担っている点を積極的に発信し、多方面からの理解を得られるよう努めていきます。</p>
<b>【基本方針4】 持続可能な公園運営を実現するための改革と連携</b>	
<p><b>6</b> 人口減少や少子高齢化のほか、利用実態に即した料金の見直しが必要ではないか。</p>	<p>基本方針4に示す通り、利用者サービスの向上と維持管理の効率化を図るため、少子高齢化や人口減少等の社会情勢の変化、また利用実態に対応した料金体系の構築について研究していきたいと考えています。</p>

意見の概要		意見に対する市の考え方
7	<p>民間活力の導入は必要だが、収益優先で緑など大切なモノをないがしろにする公園運営が他自治体に見受けられる。</p> <p>神戸市の大規模公園運営に関しては、地域のNPOなどに限定してチャレンジすべきではないか。</p> <p>官民の労力はかかるが、種々雑多なNPO、地域団体を組み合わせると新しい仕組みができる可能性がある。運営能力が高い企業だけに任せるだけでは神戸ならではの新しいモデル＝ブランド化は難しいと思う。</p>	<p>基本方針4に示す通り、持続可能な公園運営を実現するために、民産学官など多様な主体との協働や連携による管理運営の仕組みづくりが必要であると考えています。</p> <p>例えば、神戸震災復興記念公園（みなとのもり公園）や北神戸田園スポーツ公園等において、NPOや利用者有志により結成された団体が運営に関わっている事例があります。</p> <p>今後とも、各公園の特性や団体の個性を生かした管理運営の仕組みづくりを検討していきたいと考えています。</p>
<b>第6章 取り組みのイメージ</b> <b>3. イメージプランー3&lt;郊外里山パークス&gt;</b>		
8	<p>「点」ではなく、「面」（エリア）で捉えて、ネットワークとして、神戸ならではの特色ある広域公園コンセプトを作る方針に大賛成。</p> <p>実現に向け、「郊外里山パークス」構想の一翼を担わせていただきたい。</p>	<p>第6章のイメージプランに示すように、複数の大規模公園や周辺施設等が面的に連携し、より市民や来訪者に愛される空間となるよう、各公園の魅力向上や周辺施設・地域との連携を図っていきたいと考えています。</p>
9	<p>完成された大規模公園で人を集める目的で、行政が慰安の時を与える時代ではないように思う。維持管理する資産の発想では持続可能な社会は実現できない。</p> <p>「郊外里山パークス」の目的は、都市山を守るため、市民が環境保全に動き出すことにある。特にしあわせの村とキーナの森とあいな里山公園や近くの市有林（小河）が連動して動き出せば、神戸市はバイオマス利用の豊かな最先端環境都市になる。環境を守るために市民が動き学習し実践する公園、地産地消の竹林整備から始める大規模公園を提案する。</p>	<p>第4章に示す通り、大規模公園につきましては、これまでの行政主導による「維持管理する資産」という発想から、民産学官など多様な主体との協働や連携によって、様々なポテンシャルを有する資産としてさらなる価値の向上につなげていくことが必要であると考えています。</p> <p>なお、第6章に示す「郊外里山パークス」一帯は、豊かな自然に恵まれている一方、手入れが行き届いていない里山や放置竹林が存在するなど、課題も抱えており、今後市民が主体的に環境保全活動に関わることのできる仕組みや、民間事業者と連携した新技術の導入などが必要であると考えています。</p> <p>ご意見を参考に、具体的な取り組み例 2) 里山・農村エリアとまちをつなぐ ①の見出しの文言を、市民が主体的に関わるような表現に修正します。</p>

意見の概要	意見に対する市の考え方
<b>個別の公園や施設に関する提案・意見</b>	
<p><b>10</b> 【離宮公園】</p> <p>10年ほど前から、公園の管理が行き届いていない。イベントに回すお金が有ったら園の管理に費やしてほしい。</p> <p>また、木の名前の看板をもっと増やしてほしい。</p>	<p>基本方針3で示す通り、大規模公園はKOBEブランドの構築につなげるため、さらなる魅力向上に取り組む必要があると認識しています。</p> <p>ご指摘の離宮公園や森林植物園は、豊かな自然に恵まれ、歴史や文化に彩られた貴重な魅力資源であり、今後さらに磨きをかけていきたいと考えています。</p>
<p><b>11</b> 【離宮公園】</p> <p>バラと紅葉が見事だと思う。</p> <p>家でバラを栽培している人たちへのサービスコーナー（バラ育成相談、バラ苗等の販売）を設けてほしい。</p> <p>バラ及び紅葉以外にも四季折々の花が楽しめるような植栽を充実させてほしい。</p>	<p>ご意見については、今後の管理運営の参考とさせていただきます、利用者に一層喜んでいただけるような公園づくりに取り組んでまいります。</p>
<p><b>12</b> 【森林植物園】</p> <p>10年ほど前から、公園の管理が行き届いていない。イベントに回すお金が有ったら園の管理に費やしてほしい。</p> <p>また、展示している樹木のことをもっと教えてほしい。</p>	
<p><b>13</b> 【森林植物園】</p> <p>メタセコイヤ、紫陽花をさらにグレードアップし、国内外に強くイメージアップを図る。</p> <p>展示している樹木情報をわかりやすく解説する。</p> <p>（例：樹名札の工夫（外国語併記等）、ガイドスタッフの拡充）</p> <p>地形の高低差に対し、高齢者への配慮を行う。</p> <p>（例：杖や休憩用椅子の増設、園内周遊用カートの設定）</p> <p>親子連れが遊べるよう子ども用遊具を設置する。</p>	

意見の概要		意見に対する市の考え方
14	<p>【青少年公園】</p> <p>デイキャンプ場について、デイキャンプ限定ではなく、市内の小学生高学年～中学生までの学校宿泊訓練としてのキャンプ場に、神戸に残された自然を青少年が堪能できる施設にできればよいと思う。</p>	<p>基本方針2で示す通り、公園が持つ自然資源やオープンスペースを活かし、将来を担う子どもたちの学びや心と体の健やかな成長の場となるよう活用していきたいと考えています。</p> <p>ご意見については、今後、青少年公園のさらなる利活用策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>【青少年公園】</p> <p>近い将来必ずやってくる南海・東南海地震に備え、避難者の仮設簡易住宅としてキャンプ宿泊と共用してはどうか。</p>	<p>青少年公園は、地域防災計画において広域防災拠点として位置づけられており、さらなる防災機能の充実が必要と考えています。</p> <p>ご意見については、今後、公園のさらなる利活用策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>【しあわせの村】</p> <p>「しあわせの村」及び「あいな里山公園」で新たに足湯を設置し、里山林管理で発生する伐採材、間伐材を薪に加工し、薪ボイラーで使用することを提案する。</p> <p>足湯の設置は、里山林の適正な管理や公園の魅力と集客力UPに貢献するとともに環境学習の場の提供にもつながる。</p>	<p>里山林管理において、大量に発生する枝葉の有効利用については、検討課題であると考えています。</p> <p>ご意見を参考に、具体的な取り組み例 2)里山・農村エリアとまちをつなぐ ①に、里山の協働による手入れと間伐材の活用についての項目を追加します。</p>
17	<p>老若男女問わず人気のあるデザインマンホールを活用して大規模公園の利活用を提案する。</p> <p>(例)マンホールに町の歴史・文化遺産をえがく</p> <p>シリーズ化したデザインにより一体感を持たせる</p> <p>スタンプラリーやバーベキュー等のイベントに活用</p> <p>これらをSNSで発信し、話題性を出す</p>	<p>近年、デザインマンホールは非常に人気が高く、神戸市においても使用実績がある一方、設置費用や維持管理などの面において課題もあります。</p> <p>ご意見については、今後、公園のさらなる利活用策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>